

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月6日、7日、10日及び11日の4日間にわたって行われ、17人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。
スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画中継をご覧いただけます。

[発言順]



佐久間 好夫

[真誠会]

空き家対策は

中規模工業団地の適地調査時期は

- 問** 空き家対策とその固定資産税未納状況を伺う。
- 答** 空き家の賃貸や売却は「空き家バンク」登録とウェブサイト及び「田舎暮らしの本」等の情報誌でPRし、移住定住者への情報提供を図る。固定資産税未納額は未把握である。
- 問** 長命工業団地の進捗状況と中規模工業団地の適地調査時期を伺う。
- 答** 計画どおり平成31年度内に造成工事が完了する。東和・岩代地域への中規模工業用地確保は、企業のニーズに対応し、企業立地動向を

注視しながら、適地調査を行う。

- 問** 東和地域の市道整備について伺う。
- 答** 新総合計画の生活幹線道路整備事業に北戸沢線、針道・西谷線は組入れ済み、祭田線・五反田線は現地調査のうえ整備検討する。
- 問** 減容化事業に係る運搬経路を、特に東和地域の市民に示すべきでは。
- 答** 環境省が現在検討中で今年度中には策定予定のため、後に示すこととなる。

学童保育と病児保育の方針を伺う

中心市街地商業活性化基本構想の制定



斎藤 徹

[市政刷新会議]

- 問** 学童保育所にて、高付加型民間サービス（塾・英会話・ピアノ等）を行う予定はあるか。
- 答** 異年齢の児童が一緒に取り組めるものについては、外部講師の招へいも考えられる。
- 問** 本格的な病児保育の病院併設型や園併設型の考え方は。
- 答** 私立の認定こども園において病後時保育を検討している事業者があり本事業の実現に向け支援をする。
- 問** 中心市街地商業基本構想（案）制定において

他産業の意見の取り入れや街づくり会社等との協働についての考え方は。

- 答** 高齢者アンケートの実施と他産業の意見を取り入れる。他団体との協働については商工会議所・NPOまちづくり二本松と協議し今後の検討課題とする。
- 問** 市事業者支援制度の複数利用は出来ないか。
- 答** 基本的に認めていない。予算内で幅広く支援をするという趣旨であり、今後、より良い支援制度のあり方などについて検討する。



坂本 和広

[真誠会]

問 (仮称) 二本松電力設立の進捗状況は。

答 本年7月に発起人会を設置、8月には120名を超える市民の皆様のご参加のうえで、市民会議を開催し、市民電力の必要性等について理解を進めていただいた。今後、市としての協力体制を検討し事業進捗についてサポートしていきたい。

問 今後の人口減少対策の一つとして、発電電力をより安価で子育て世帯に供給できる施策検討の可否は。

再生可能エネルギー事業の取組みは

二本松駅南口開発事業の状況は

答 (仮称) 二本松電力が将来的に電気の小売事業を行う際には、できる限り安価な電気供給を期待している。

問 二本松駅南口に改札口の設置計画は。

答 只今、実施設計業務を発注したところだが、現時点で二本松駅南口改札の設置計画はない。

問 ポケットパークの設置やベンチ設置計画は。

答 ポケットパークの設置やベンチ設置計画について、現在進めている実施設計の中で検討していきたい。

小学校の英語授業はどうなる

上川崎和紙の未来は

問 2020年に本格導入される英語授業の対応は。

答 小学校5年生、6年生の外国語活動は、「外国語科」として教科化され年間70時間実施、小学校3年生、4年生は外国語活動として年間35時間実施。本市では、3年生以上で実施している外国語活動の授業全てに外国人講師を業務委託により派遣し、担任教師を主担当としてチーム・ティーチングで授業を行って充実を図っている。2020年以降も外国人講師が担任と共に児童が学びやすい授業を推進する。



安齋 政保

[市政会]

問 世界的なデザイナー、コシノジュンコ氏とのオリジナル商品の開発や商品の販売は。

答 平成29年度福島県クリエイティブ伝統工芸創出事業に参加し、コシノジュンコ氏により助言・指導を受け商品を開発。ランチョンマット、色紙、掛軸を商品化し、東京銀座、日本橋ふくしま館ミデッテ、南青山のコシノジュンコ氏のブティックJ・K本店などでも展示・販売が行われており、また、コラッセ福島や、和紙伝承館においても展示・販売が行われている。



佐藤 有

[真誠会]

問 全国学力テスト調査の本市の結果は。

答 小学6年生は国語、算数、理科、中学3年生は国語、数学、理科の3教科で実施、他に児童生徒質問紙調査も実施され、家庭学習や読書時間は全国平均を上回っているが、一部を除き小・中学生共に学力は全国平均をやや下回っている。今後確かな学力を身に付けるため、学習状況調査の効果的な分析を活かし、授業改善に向け具体的な手だての構築とその実施について指導していく。

本市の全国学力学習状況調査の結果は

安達ヶ原周辺整備と三の丸御殿復元の計画は

問 観光振興について、安達ヶ原周辺整備と三の丸御殿復元の計画について伺う。

答 ふるさと村と安達ヶ原公園を一体的に散策できる園路の整備を完了した。また、黒塚周辺河川敷に国より無償で占用許可を受け、駐車場と芝生広場を整備し多目的な活用を図る。さらに村内に、安全で人気の高い遊具を設置する。戊辰の役150年の節目であり、二本松城のシンボル、歴史文化観光拠点施設として復元は重要な意義があり、復元について検討する。

市内の太陽光発電施設の設置状況は 再生可能エネルギー利用の条例制定を



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

- 問** 市内各地域毎の稼働施設箇所数と出力数は。
答 市は民間設置の太陽光発電施設の全てのデータを保有しておらず、経産省資源エネルギー庁で公開している市町村別データで、昨年末50kw以上の箇所数は33箇所、発電設備の出力数は55,568kw。地域別データは公表されていない。
- 問** 市内の施設計画箇所数と出力数は。
答 経産省データで昨年末設備認定済みで、運転を開始していないのは18箇所、出力数は45,895kw。

- 問** 原発ゼロを目指し、市民の財産である市内の自然資源を有効活用し再生エネルギーとして利用する。併せて持続可能な地域づくりを進めるため、市民の権利として「条例」を制定すべきでは。
答 再生可能エネルギーの推進と自然との共生、市民生活の安全安心の確保は密接に関わり合う重要な課題である。これの調和を図り地域資源活用理念、不適切な開発を抑制する方針等を盛り込んだ条例等は、今後調査・研究していく。



平栗 征雄

[市政刷新会議]

市文団連協議会の評価と作品保管の考えは

市内循環バス運行の協議の経過は

- 問** 名誉市民以外の文化活動に従事した市の著名人の作品も多く、それらを保管し、展示する場所があれば、市民ボランティアで協力したい団体もあるが、市長の考えを伺う。
答 基本的には教育委員会が所管であり、処々の作品が貴重であることは承知している。作品には作者の意が込められているし、保管することは必要と思う。総合的に判断、検討し互いに協議しながら進めていきたいと考えている。
- 問** 市民が求めているのは、公共交通料金の無料化

- ではなく、暮らしの中で自由に地域間交流が出来る交通手段・交通網である。考えを伺う。
答 高齢者が住みなれた地域でいつまでも暮らせる自立と安心のまちづくりを目指して、75歳以上の高齢者の積極的な社会参加を図るため、また免許返納者への支援を含め、高齢者の公共交通料金無料化の来年4月1日の開始を目指している。輸送手段の充実については利用者、市民の声を聴いて、地域公共交通活性化協議会とも十分協議していく考えである。

本市におけるLGBTの取組みは

市職員の障がい者雇用の状況は



小野 利美

[市政会]

- 問** 本市における同性パートナーシップ制度の導入について伺う。
答 現時点では制度の導入の考えはないが、今後、国や他自治体の動向を見守りながら検討していきたい。
- 問** 教育現場におけるLGBT対策について伺う。
答 該当する児童生徒の報告はないが、今後もすべての児童生徒の人権を守るための相談体制等を整えて、楽しく有意義な学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。

- 問** 法定雇用率等、市職員の障がい者雇用状況について伺う。
答 市職員の障がい者数は、市長部局で6人、教育委員会部局が1人、法定雇用率は市長部局2.00%、教育委員会部局が2.99%となり、市長部局が法定雇用率を割り込んでいる。来年度新たに障がい者1人程度を採用することとしており、法定雇用率達成に向け定員管理に努めていく。